

皇室におけるボンポニール(菓子器)をはじめ、銀器は全ての儀式において必要不可欠な品々であり、その銀器を制作するうえで必要な金工技術にスポットが当たる「第13回全日本金・銀創作展」が、10月に開催されることが決定し、応募作品を募集する。前回は2015年に開かれ、80数点の応募があった。中国市場でお茶の人気の高かったことから、日本の伝統技術で作られた茶器などが高額で取引されるなど、注目を集め、応募作品も銀瓶、急須

金工技術の創作性豊かな作品を広く募集
第13回全日本金銀創作展

学生、アマチュアにも入賞のチャンス

などが多い傾向にあったという。同創作展の特徴は、伝統工芸「東京銀器」をはじめとしているものの、「伝統工芸」に重きを置いているわけではなく、創作性豊かで優秀な作品を数多く募集することから、全国に点在する金工産地、金工に携わる学生、アマチュアなど幅広い層に公募を募り、また、和洋器物、置物だけでなく、オブジェやフィギュア(第1部門)、指輪、アクセサリ、プレート、キセル、ぐいのみなど、幅広い作

品での応募が可能となっている点にある。入賞においても、経済産業大臣賞(10万円)をはじめ、関東経済産業局長賞(3万円)、東京都知事賞(3万円)、東京都産業労働局長賞(2万円)など、大きな賞が獲得できるチャンスが開かれている、有益な創作展といえる。入賞作品と応募作品は、10月26日～27日、東京・浅草にある浅草文化観光センター7階に展示、展示を持って結果発表とし、銀器組合ホームページでも発表される。なお授与式を11月26日に上野精養軒で実施予定。応募基準は「現在の感覚に即し、技術・デザイン・実用性・市場性に優れ、多くのひとびとの賞賛と求めに適合するもの」。規定は、第1部門=和洋器物、置物、額、テーブルウェア等(茶器、食器、優勝カップ、オブジェ、フィギュアなど、縦横高さが計20センチ以上)。第2部門=和洋装身具、文具、掌にのる程度の携帯小物(帯留め、指輪、バックル、手鏡、ウイスキーボトルなど、縦横高さが計20センチ以内)。応募資格=日本国内に住居する方。応募締切は10月10日(東京銀器ホームページからダウンロードできる出品申込書に記載後、郵送、FAX、メールにて送る。応募料の振込で完了する)。応募作品受付=10月15日～21日の10時～17時までに必着。応募料は一品(一組)5000円(学生4000円)。

TASAKIのアイコンジュエリーとして知られる「balance」シリーズの「バランス シグネチャー リング」の形状が、特許庁により立体商標として登録された。今回の登録は、商品形状そのものにかかわらず、パールなしの立体商標登録となり、パールを直線に並べた「バランス シグネチャーリング」の立体的形状が、ブランドのロゴや刻印が無い場合でも、「TASAKI」の商品であることが一般的に認識されるものであることが、公式に認められたこと



TASAKIが、立体商標登録を完了
「バランス シグネチャー リング」

とになる。「バランス」シリーズは、TASAKI COLLECTION LINEデザイナー、タクーン・パニクガル氏が、バランスボールからインスピレーションを得て生み出したデザイン。パールを直線に並べたミニマルでモダンなフォルムは、発表当時、その革新性によりジュエリーデザインの概念を揺るがすほどのインパクトを与えた。今日では、日本のみならず世界中で愛され続けるデザインとなっている。



高額商品が好調で、売上12億円超
主力ブランド中心にハイジュエリーに注目
ナガホリ「創美展 東京」

新ブランドを披露するなど、創美展らしいジュエリーの幅広さと、層の厚さで売上を伸ばした。その中でも「NADIA」は、新しいキービジュアルで展開し、品質重視の消費者から好評を博し、パンプレット掲載品を含む高額商品5点が成約。「BUCCELLATI」は、新作を中心にハイジュエリー50点が成約するなど、両ブランドともに目標を達成した。また、同社が特許を取得した、「落ちにくいイヤリング」「イヤーフット」が多くの消費者からの支持を得て、目標の300%を達成するなど、バランスのいい商材展示や、その注目度に関心が集まった。「SCAVIA」は、オーナーのスカビア氏本人が、直接デザイン・ストーリーを語る「触れ合い」を設けたことで、より消費者の関心を引き寄せ、好評となっていた。更に、日本の有力ジュエリーデザイナー(10名)の新作を披露したほか、今回のクローズアップデザイナーで、自然をモチーフにした原正次氏が、新元号・改元記念として莫大なエネルギーを発生させる「渦」をテーマにしたジュエリー「シャウベルガー」シリーズを発表し、人気を集めた。次回、「秋の創美展」は、10月25日・26日、帝国ホテルで開催予定。

ハイジュエリーへの誘導を続ける
激しい中でも結果を生む
伊東商店「エレガンスジュエリーフェア」



名古屋のジュエリーメーカー(伊東商店)が主催する、東海地域の宝飾小売店を中心とした恒例の「エレガンスジュエリーフェア」が、6月8・9日、名古屋城が眺められるホテルゴージャスで開かれ、賑わった。今年も、アジア有数の宝飾メーカーが織り成す「DAIMURUSA(ダイヤモンドルサ)」をメインに、ハイジュエリーを特別に並べたエクセルレントコーナーを毎回設け、きちんと高額品へ導き続けていることから、昨年に続いて今回も高額品が予想以上に決まるなど、新しいものや、より良いものを求める傾向が続いているようだ。また、自然に直接触れているかのようなシンプルで美しいジュエリーを提案する三木稔氏をはじめ、女性が元気になるジュエリーを揃えた前田悠余氏、人の心を魅了する松井久子氏、躍動的でオリジナリティーあふれる津守幾久子氏、海外からも高い評価を受け、松崎勉・憲子氏などのデザイナー陣も新しいコレクションで魅了するなど、話題を振りまいた。

先行商品を取り揃えてポップアップ

「flowers」をはじめ、コレクション

「flowers」をはじめ、コレクション

Development Goals)を起点として注目される「サステナブル(持続可能な生産と消費)を目指したファッションの取り組みとして、2011年から「国内製造にこだわり、職人の技術伝承に貢献する」リメイクジュエリーの扱いをスタートしていることから、これらの技術を活かした新たなジュエリーブランドとして、今回の「mi luna」を立ち上げたとしている。「mi luna」では、「地球からの贈り物である天然石を、時を超えて人から人へと受け継ぎ、輝き続けて欲しい」という想いのもと、KOMEHYOで買取ったカラーストーンを、石そのものの魅力を感じられ、かつジュエリーとしてのファッション性を高めたシンプルでデザインの商品へと生まれ変わらせていく。また、オンラインで生活者に対し直接販売を行うD2Cモデルに、リアルイベントを組み合わせた展開をしていくとし、KOMEHYOの持つリアル×デジタルのノウハウを活用して、KOMEHYO店舗で個性的で魅力的なカラーストーンを見て、触れて、選べる体験の場をつくらしている。さらに、D2Cとリメイクのノウハウとの組み合わせによって、製品にかかわる全ての人に対して「フェア・アプライス」を実現し、消費者にとって手の届きやすい価格で提供が可能となったとした。

学校側としても、就職活動に向けて良い機会。足踏みする学生などもあり、話ができる機会は助かる。企業は中途採用者を求める傾向が強いが、新卒を見て欲しい、としている。

秋山部会長は「デザインコンテストやプレゼンコンテストなど内容が盛りだくさん。他の産業にはない取り組みで、これから宝飾業界へ勤める学生にとって、企業を知る機会になり、企業側にもメリットはある。業界は決して良い状況とは言えないが、業界をより盛り上げるために、皆様と一丸となってやっていければ、そして交流会をきっかけに就職など、なにか良いきっかけとなれば嬉しい」とコメントした。

東京貴金属技能士会(坂元重郎部会長の第24回、全日本貴金属技能士連合会(坂元重郎部会長の第14回「通常総会」が、6月21日に東京で開催され、議案は原案通り、承認・可決された。特に、令和元年の事業計画案の最大の事業「ものづくり・匠の祭典2019」への協力と積極的な参加、技術の会員への提供及び講習会の開催など、技能士会らしい取り組みが目立った。坂元会長は「平成を振り返ると、ものづくりにとって“失われた30年”といえる。平成元年には、ものづくりで世界ランキング上位50社に、日本企業が35社入っていたが、平成30年にはトヨタ自動車1社のみ。他は情

報通信と不動産など、ものづくりからカネづくりに移行している。来年に控えた東京オリンピック・パラリンピック後の日本の将来を考えると、皆が真のものづくりを考える必要がある」と述べた。

訂正

2019年6月15日号(第2385号)4面に掲載したJJA第8回通常総会の記事の中で、「初の女性理事2人を含む」という文章で、「初の」は間違いで、「女性理事2人を含む」が正しく、ここで訂正し、お詫び申し上げます。

なお、「初の女性誕生」というのは、JJA事務局長に、女性の小林知子氏が就任したのみでした。JJA理事として、この数年不在だったものの、過去には女性理事が、宝飾業界のために活躍していました

お客様の想いをかたちに。

すてきリフォーム miwagiken

ビルの外装から住宅までのリフォーム 設計・施工も承ります

W&J 読者限定キャンペーン 7月のキャンペーンは

LIXIL全商品20%~40%OFF その他5%OFF

お問い合わせは
フリーダイヤル 0800-8000-930 (通話無料)
創業明治元年
三輪技建 株式会社

〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋1-6-1
Tel.03-3624-0571 Fax.03-3621-8327

特別な修理を得意とする

~WOODY BELL~

Woody Bell (ウッディー ベル)

修理・リフォーム 時計修理など

東京台東区東上野2-10-2第5政木ビル3階
TEL 03-5688-2390

http://woodybell-j.com/
e-mail: woodybell12@gmail.com

業者様必見!

ネット日本のブランド時計売買 /

高価・即金買取

+ 常時在庫 4,000点!! 卸販売

TEL 03-3832-6503

ROLEX, Patek Philippe, OMEGA, TAG Heuer + その他ハイクラスウォッチ

NET JAPAN Co., Ltd.

美の系譜

CÔLIN JAPAN

株式会社 HAKKO インターショナル

〒730-0036 広島市中区袋町5-13 TEL (082) 244-4444

ホットがお届けするプライダージュエリー

AG GERSTNER

eduard G. fidel

株式会社 ホック ウォッチ&ジュエリー事業部
〒104-0061 東京都中央区銀座7-13-10 2F TEL.03-6226-4713